

【高等学校用】

令和4年度学校評価計画

達成度(評価)

- A: 十分達成できている
- B: おおむね達成できている
- C: やや不十分である
- D: 不十分である

学校名	佐賀県立鳥栖工業高等学校 定時制
1 前年度 評価結果の概要	<p>・どの評価項目も概ねまたは、十分達成できたという評価結果であった。</p> <p>・基礎学力の向上は、令和2年度より更に成果が出ており、今後も重点的に取り組む目標である。引き続き、生徒の実態に応じた工夫を行いながら、計算力アップトレーニングを計画的に行い、基礎学力の向上を目指す。</p> <p>・定時制進路指導部が担任、保護者、全日制進路指導部と密に連携を図ることで、生徒の希望進路の実現を達成できた。引き続き、生徒が社会との関わりの中で、進路意識の向上と希望進路の実現に向け、生徒の主体性を導き出すようなキャリア教育を推進する。</p> <p>・いじめの問題への対応は、年間計画どおり、その取り組みを実施できた。引き続き、いじめの問題への対応に係る年間計画に基づき、その取り組みを実施することで、いじめの早期発見・早期対応に努める。</p>
2 学校教育目標	働きながら学ぶという基盤に立ち、広い視野と豊かな創造力を持ち、自ら学ぶ意欲と自らを律する力を備え、心身共にたくましく、個性豊かで人間愛に満ち、社会に貢献できる人材を育成する。
3 本年度の重点目標	<p>① 基礎学力の定着を図り、自ら学びに向かう態度を育成する。</p> <p>② キャリア教育を充実させて、希望進路の実現を目指し、積極的に社会と関わる人材を育成する。</p> <p>③ 心と体の健康維持に努め、スポーツに親しむ態度を育成する。</p> <p>④ 唯一無二の誇り高き学校づくり(将来を見通したキャリア教育の充実・希望進路の実現のための個別最適な進路指導)を推進する。</p>

4 重点取組内容・成果指標	5 最終評価
---------------	--------

(1)共通評価項目				最終評価		学校関係者評価	
評価項目	重点取組		具体的取組	達成度(評価)		実施結果	
	取組内容	成果指標(数値目標)		達成度	実施結果	評価	意見や提言
●学力の向上	○基礎学力の定着	○「計算力アップトレーニング」の積み重ねにより、基礎学力の向上を実感した生徒80%以上を目指す。	・定期的に「計算力アップトレーニング」を実施し、学習の積み重ねによる達成感を持たせる。 ・各教科で基礎学力定着のための時間を確保する。	*	*	*	*
	○資格取得の促進	○資格取得に積極的に取り組ませ、検定合格70%、国家資格取得50%以上を目指す。	・資格取得のための補習を実施する。 ・高度な資格の取得に挑戦する生徒に対し、個別指導を行う。	*	*	*	*
●心の教育	●生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやり、社会性、倫理観、正義感、感動する心等、豊かな心を身に付ける教育活動の推進	○ホームルーム活動等を通して、人権・同和教育や進路保障の学習会を実施し、基本的人権の尊重を重視できる生徒100%を目指す。	・ホームルーム活動等にて、人権・同和教育や進路保障の学習会を実施する。 ・人権・同和教育に関する講話を計画的に実施する。	*	*	*	*
	●いじめの早期発見、早期対応体制の強化・充実	○いじめの未然防止、早期発見、即時対応に向けて、いじめの問題への対応に係る年間計画に基づき、その取組を100%実施する。	・いじめ対応についての職員研修を前期と後期に実施する。 ・定期的に学校生活アンケートを実施して、いじめの早期発見・早期対応に努める。	*	*	*	*
	●★ふるさと佐賀への思いを醸成するための教育活動の推進	○佐賀県の良さについて、その理解を深めることができた生徒80%以上を目指す。	・「佐賀語り」を使用して、佐賀県の歴史や文化、自然等について学ばせる。 ・佐賀県について興味を持ったことを学習用PC等を活用して、調べ学習を行わせる。	*	*	*	*
●健康・体づくり	●望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成	●「健康に食事は大切である」と考える生徒100%を目指す。	・定期的に「保健だより」を発行する。 ・講演会や個人面談を通して、健康に関する意識を高める。 ・給食指導(手洗い・マナー等)の徹底を図る。 ・食育に関する啓発活動を推進する。	*	*	*	*
	○運動習慣の改善や定着化	○基礎体力・持久力向上のために、授業において体づくり運動等を90%以上実施する。	・体育の授業冒頭に、時間を設定してランニング、縄跳び、ダブルダッチ等を実施する。 ・部活動を通して、生涯スポーツの基礎を身に付けさせる。	*	*	*	*
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の縮減	●教育委員会規則に掲げる時間外在職等時間の上限を遵守する。	・出勤管理システムを有効に活用し、長時間勤務の職員に対し、指導・助言を行う。 ・学校閉庁日を設定する。	*	*	*	*

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				最終評価		学校関係者評価	
評価項目	重点取組		具体的取組	達成度(評価)		実施結果	
	重点取組内容	成果指標(数値目標)		達成度	実施結果	評価	意見や提言
○★唯一無二の誇り高き学校づくり	○★将来を見通したキャリア教育の充実 ○★希望進路の実現のための個別最適な進路指導	○進路意識が高まったと考える生徒80%以上を目指す。 ○卒業年次生の進路希望(第1希望)の実現率80%以上を目指す。	・外部講師によるキャリア教育講演会を実施し、生徒の実態に応じた講演会を開催する。 ・担任、進路指導部、全日制進路指導部等と密に連携を図りながら、生徒一人ひとりに最適な進路指導を行う。	*	*	*	*

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育 ★…唯一無二の誇り高き学校づくり

5 総合評価・次年度への展望	<p>・</p> <p>・</p> <p>・</p>
----------------	----------------------------